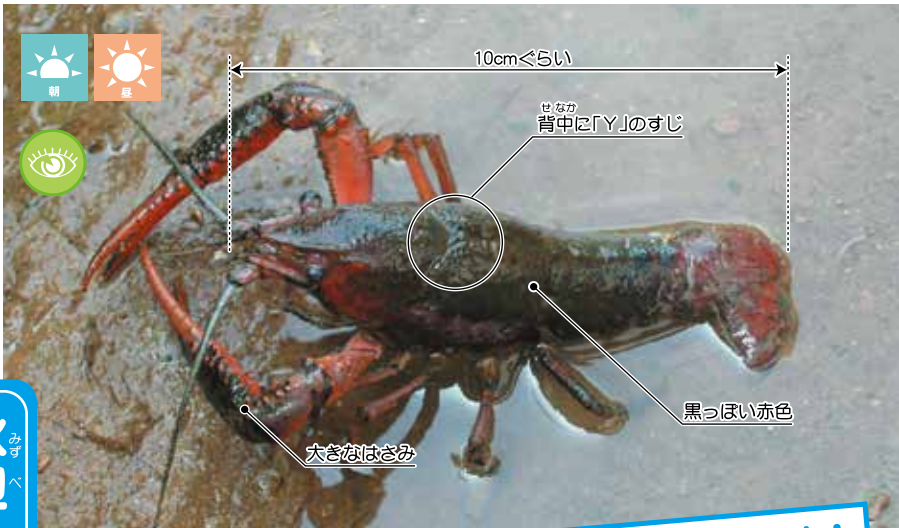


生きもの
水辺の



アメリカザリガニ

エビ目(十脚目) アメリカザリガニ科

観察のレベル ★★☆☆☆

見つけるポイント!

- 場所 …川・池・水田
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …ふつう

昔から、子どもたちがザリガニつりなどをして親しんできました。じょうぶで飼いやすいので、学校などでもよく飼われています。青色や白色の体のもも、まれに見られます。ウシガエル(食用ガエル)を育てるためのエサとして、人間が北アメリカから持ちこんだものがにげ出して、いろいろな所に広がりました。水草や水の中の生きものを食べてしまうので、日本の生きものへのえいきょうがあるとされ「要注意外来生物」に指定されています。

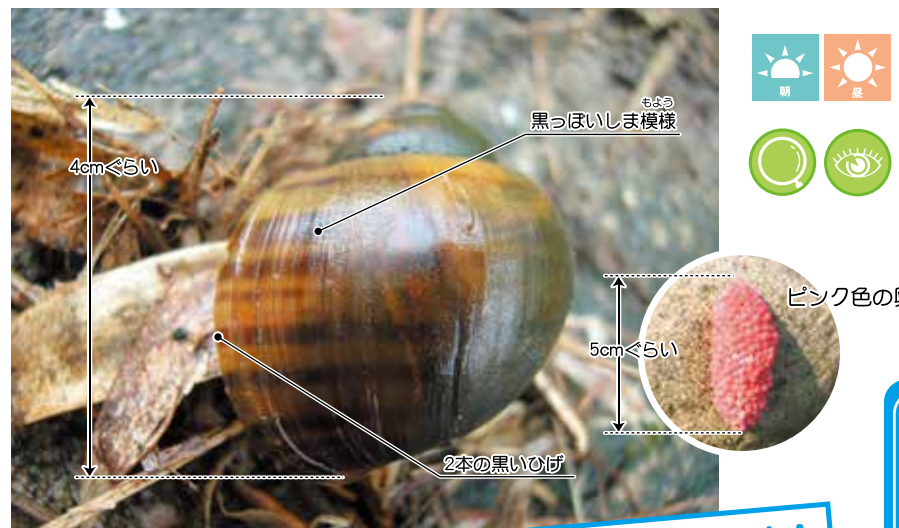
とくちょう 赤黒い色をしています。たまに薄い赤色のものや青白い色のものもいます。基本的に模様はありません。ドコの多い池や田んぼに住んでいます。

注意! 学校や家などで飼育していることもありますが、飼っているものを放したり、つかまえたものを他の所に放したりしないようにして下さい。

注意! まちがしやすい生きもの
テナガエビなどの仲間
数cmから20cmくらいになる、小さいうちは色がなく、すきとあった感じでハサミの手が細くて長い、模様のあるものもいる

他にも調べてほしい生きもの
サワガニ
山の中や川の上流にいる赤茶色や青白色のカニ
きれいな水辺をしめず生きもの

生きもの
水辺の



スクミリンゴガイ

原始紐舌目 リンゴガイ科

観察のレベル ★★★★★

見つけるポイント!

- 場所 …池・水田
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …少ない

田んぼに住んでいて、イネを食べることがあるので、農家にとっては迷わぬ生きものです。これが住んでいるところでは、用水路のかべやイネのくきなどに、ピンク色の卵が産みつけられていてすぐわかりますが、農家の方々は卵を見つけると、すぐに取ってしまいます。人が食べるために輸入されたものがにげ出して広がったものと言われています。昔は鹿児島でも養いよくされていたことがあります。ジャンボタニシと呼ばれています。イネなどに害をあたえるため「要注意外来生物」に指定されています。

とくちょう 黒っぽい茶色で、貝がらにすじの模様があります。4~5cmの大きな巻貝です。ドコの上などをはっていると、2~3cmもある長い2本の触角(やわらかい黒いひげのようなもの)が見えます。ピンク色で2~3mmの大きさの卵が数百個ついていたらこれの卵なので、貝が見つからなくてもいることがすぐにわかります。

注意! 人が外国から連れてきたもので、もともと日本には住んでいない貝です。見つけても他の所に移動しないようにして下さい。

注意! まちがしやすい生きもの
タニシの仲間
全体にまっ黒く見える巻貝で、触角はほとんど見えない
カワニナの仲間
細長くて、とんがった2~4cmの巻貝

他にも調べてほしい生きもの
カワニナの仲間
ホタルのエサになる小型の巻貝、水路などにいる